

「京都の生物多様性に関する意識向上等に向けた動画制作業務」に関する質問への回答

<質問事項>

質問 1

本業務において重視される成果指標（例：視聴数、理解度向上、行動変容など）は何でしょうか。

回答

本業務では重視する成果指標は設けていません。仕様書「4 本業務の目的」に記載のとおり、本業務では動画視聴者の生物多様性に関する意識向上を図り、具体的な行動につながっていくことを重視しています。

質問 2

特にアプローチを強化したいターゲット層（年齢層・観光客／市民など）はありますか。

回答

生物多様性に関心が低い方を含めた、幅広い方々をターゲットとしています。

質問 3

これまでの生物多様性に関する広報施策で、効果があった点・なかった点・課題などがあれば教えてください。

回答

当課では、ホームページの閲覧数、イベントの参加者数等の実績を把握していますが、それらの実績のみで広報施策の効果の有無を的確に評価できないことが課題と考えています。

（生物多様性の認知向上に向けた広報にも取り組んでいますが、直近の市民アンケートによれば、「自然を身近に感じる機会がある人」が7割である一方、「生物多様性を守るために取り組んでいる人」が5割と大きな乖離があり、あらゆる主体が行動する状態には至っていません（出典：[京都市生物多様性プラン\(2021-2030\)](#)）

質問 4

表現上、避けるべきテーマやトーン（過度な表現、強いメッセージ等）について制約はありますか。

回答

視聴者に不快感や不安、誤解を与えるような表現は避けてください。また、仕様書「5 委託業務の概要」の記載についてもご参照ください。

質問 5

「京都らしさ」として本業務で特に重視すべき要素（文化・景観・生活様式等）は何でしょうか。

回答

「京都らしさ」については、[京都市生物多様性プラン\(2021-2030\)](#)の第1章に記載がありますのでご参照ください。

質問 6

本動画によって視聴者に期待する具体的な行動はどのようなものを想定されていますか。

回答

本市において公開しております[「生物多様性アクションブック」](#)に具体的な行動例の記載がありますのでご参照ください。

質問 7

タクシーサイネージやイベント等での再生環境(音声 ON/OFF 割合や視聴状況)について教えてください。

回答

タクシーサイネージのほか、屋内外問わずイベント等でのディスプレイ等を用いた放映、インターネットでの配信等を想定しています。また、仕様書の「5 委託業務の概要」の記載についてもご参照ください。

質問 8

複数年活用において、特に想定されている利用シーンや展開先はありますか。

回答

複数年も同様に、タクシーサイネージのほか、屋内外問わずイベント等でのディスプレイ等を用いた放映、インターネットでの配信等を想定しています。

質問 9

動画以外（SNS 短尺版や教育用途など）への展開については評価対象となりますか。

回答

評価対象については、募集要項の別紙 2「受託候補者選定の評価基準の目安」の記載をご参照ください。

質問 10

本プロポーザルにおいて、特に重視される評価項目(企画・体制・コスト等)の優先順位を教えてください。

回答

評価項目の優先順位については、募集要項の別紙 2「受託候補者選定の評価基準の目安」の記載をご参照ください。

質問 11

京都市で過去に撮影された写真画像や、映像素材は使用できますか。

回答

本市が著作権を有する素材等については、本業務の受託事業者には基本的には提供可能です。ただし、個別具体の写真画像等の使用については、本市と受託事業者との協議により決定するものとなります。

質問 12

映像には、BGM やナレーションや手話は必要ですか。

回答

仕様書「5 委託業務の概要」の記載をご参照ください。

質問 13

過去に制作された啓発資料・冊子などを参考にしても良いですか。

回答

問題ございません。